

## 第 113 回 ITER 機構職員募集説明会での Q&A

### 1. 日時・場所

平成 30 年 11 月 19 日（月）～20 日（火）

山形テルサ（2018 年秋季（第 97 回）低温工学・超電導学会）

### 2. 来訪者 50 名程度

### 3. 説明概要

2018 年秋季（第 97 回）低温工学・超電導学会において、ITER 計画に関するポスター、ITER 模型の展示、パンフレット等の配布を行い、ITER 計画の概要、最新の建設状況、ITER 国内機関として ITER 製作機器の製作状況及び調達活動、ITER 機構職員数の現状、ITER 機構職員公募に関して説明を行った。また、建設中の ITER サイトの様子を見ることができる VR の体験コーナーを設けた。

（ITER 連携推進グループ 近藤、會澤）

### 4. 主な Q&A

Q:核融合エネルギーは実用化に向けてどのような計画で進められていますか？

A:現在、核融合の科学的・技術的実現を実証するために実験炉「ITER」を南フランスに建設しています。ITER のファーストプラズマは 2025 年を予定しており、重水素を使用した運転を経て、2035 年に実際の燃料であるトリチウムを用いた運転を開始します。

ITER で持続的な核融合燃焼の実証後、原型炉の建設・発電の実証を行い、実用化というステップで核融合エネルギー実現に向けて計画が進められる予定です（図 1）。



図 1 核融合エネルギー実用化へのステップ

Q:VR（ヴァーチャル・リアリティ）では ITER 建設サイトが見られるのですか？

A:VR では、ITER 機構より数か月に一度配信される ITER 建設サイト全体や建屋内部等の建設状況をご覧いただいています。今回ご覧いただいたのは 2018 年 8 月時点の様子です。また、ITER 機構ウェブサイトの「ITER VR TOUR」では、最新の 8 月時点に加え、過去の建設の様子もご覧いただくことができます。臨場感あふれる VR 画面で建設サイトをぜひご覧ください。

<https://static.iter.org/com/360/calendar/2018-08/>

Q: ITER 機構ではインターンシップを募集しているのですか？

A: ITER 機構では学生の皆様に国際プロジェクトの中で多くの知識と経験を得ていただく機会としてインターンシップを実施しています。ご自身にあったカテゴリーやテーマ等をご確認いただき、ぜひご検討ください。なお、応募したい期間やテーマがない場合でも ITER 日本国内機関窓口にご相談いただけますと ITER 機構と調整することも可能です。近年、日本からも数名参加しており、皆様活躍されています。詳細については、ITER Japan ウェブサイトをご確認ください。

[http://www.fusion.qst.go.jp/ITER/staff/internship\\_program.html](http://www.fusion.qst.go.jp/ITER/staff/internship_program.html)

## 5. 展示会の様子

